

<後援会のおもちつき大会&保護者会コンサート> 2月11日(土祝)

2月11日恒例の後援会による「おもちつき大会」です。お餅を搗いて、後は食べ放題。
この日のお昼は搗きたてのお餅をどうぞ…。



そして、今年も保護者会コンサートもジョイントされて楽しみな日になります。

※ つき手を募っています。一人でも多くの方ご協力下さい。

※ 材料の献品もご協力いただけたら幸いです。

後援会は発足30年を超え世代を超えてのつながりが広がっています。桂保育園園舎の改築で園が大きな借金をしたのをきっかけに、在園・卒園の保護者、旧・現職員の方々が一つとなって、物心両面での支援を園にすることができればと会を発足させていただきました。

お餅つき大会などの取り組みをはじめ、卒園児が参加する運動会やクリスマス、同窓会への援助、そして最近では、卒園した小学1, 2, 3年生を対象とする「遊びにおいでよ」の援助や、保護者対象の「子育て座談会」の開催など様々な活動に取り組んでくださっています。

～大人になっても思い出す絵本との出会い～

子どもにとって「絵本とは・・・」と考えてみると他のおもちゃとは違い「ひとりではあそべない」という事に気付きます。子どもが選んだ一冊の絵本を読み聞かせる大人の関わりが必要なのです。それが絵本の魅力です。大人になった私達もふとしたきっかけで懐かしく幼い頃に楽しんだ絵本を思い出す事があります。その時絵本の内容と一緒に読み聞かせてくれた両親や祖父母の声、その時の風景と一緒に思い出します。絵本の世界には子ども達に「気付いてほしい」「発見してほしい」「心にのこしたい」と思う事を間接的に伝えたい作家さんの思いがつまっています。子どもは絵本を聞きながら、絵本の中の登場人物になって自分が経験した事を確かめ、深め、広げます。繰り返し読んでもらう事で長い年月をかけて心に絵本のメッセージを響かせていくのです。大人になって思い出す絵本は幼い頃に心に響いた絵本なのです。だからこそたくさんの絵本に出会う事、そして繰り返し同じ絵本を楽しむ絵本のあそびの世界に、大人も参加し一緒に楽しむ事が大切なのだと思っています。

<伝染性の病気・登園届について>

桂東学区の地域でインフルエンザなどの感染症が流行っています。

一般的に園での生活は、集団生活ですので伝染性の病気に感染しやすい状況にあります。園では、お昼寝やお食事など生活を共にします。しかし集団発生といえる状況であっても、学校のように学級閉鎖のような措置をとることは制度的にも余程でないできません。ですから、各ご家庭の協力を得て未然に拡大を防ぐことが重要です。園では、衛生管理に心がけていますが、加えて伝染性の病気のお子さんがある場合は、早めに保護者の方に状況・情報をお知らせするようにしています。感染が疑わしい症状のときは早めに対応いただき、早めの受診、早めの休養等心がけていただきますようお願いいたします。

お仕事の状況等でご苦勞があるとは思いますが、園の子ども達みんなの健康を守ることがそれぞれのお子さんの健康を守ることに繋がります。また、万が一お子さんが伝染性の病気にかかれた後、治癒されて登園される場合は医師の確認したことを記した登園届を提出していただきますようお願いいたします。

登園届の様式は京都府医師会乳幼児保健委員会作成のものを我们用います。医師会では各病院にも備え付けていくとのこと。京都府医師会のHP(子育て情報欄)からもダウンロードできます。園でも同様の登園届の用紙を用意しています。ご利用ください。